

平成17年 台風14号災害の概要

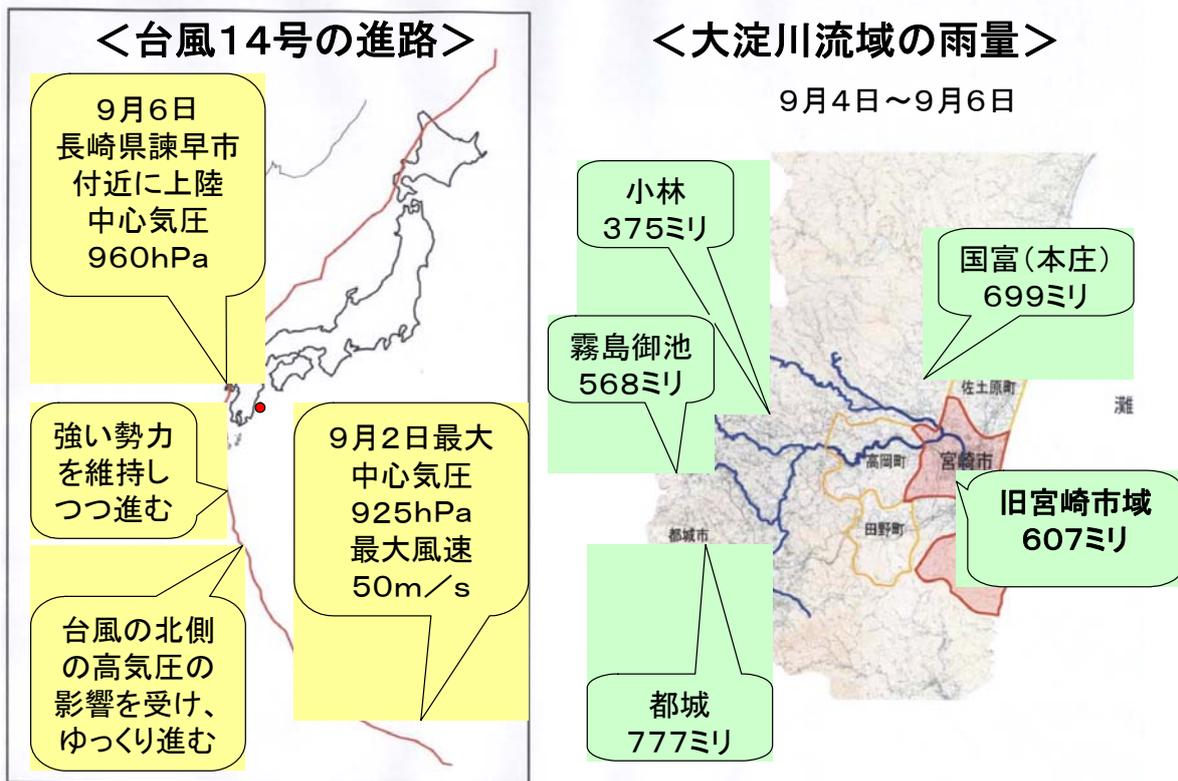


宮崎市総務部危機管理室

1. 気象概況

台風14号は、秋雨前線の停滞に加え、台風本体の雨が重なり、県内の広い範囲で記録的な大雨をもたらした。

本市（旧宮崎市域）では、平成17年9月4日から6日までの総降水量が607mmに達する豪雨となった。これは総降水量として戦後最大とされた平成2年の台風20号（9/27～29）と比較すると、総降水量はほぼ差はないものの、上流域の都城、小林、霧島御池、国富の総降水量がそれぞれ数倍となるほどの大雨であり、宮崎市内に甚大な被害を及ぼした。

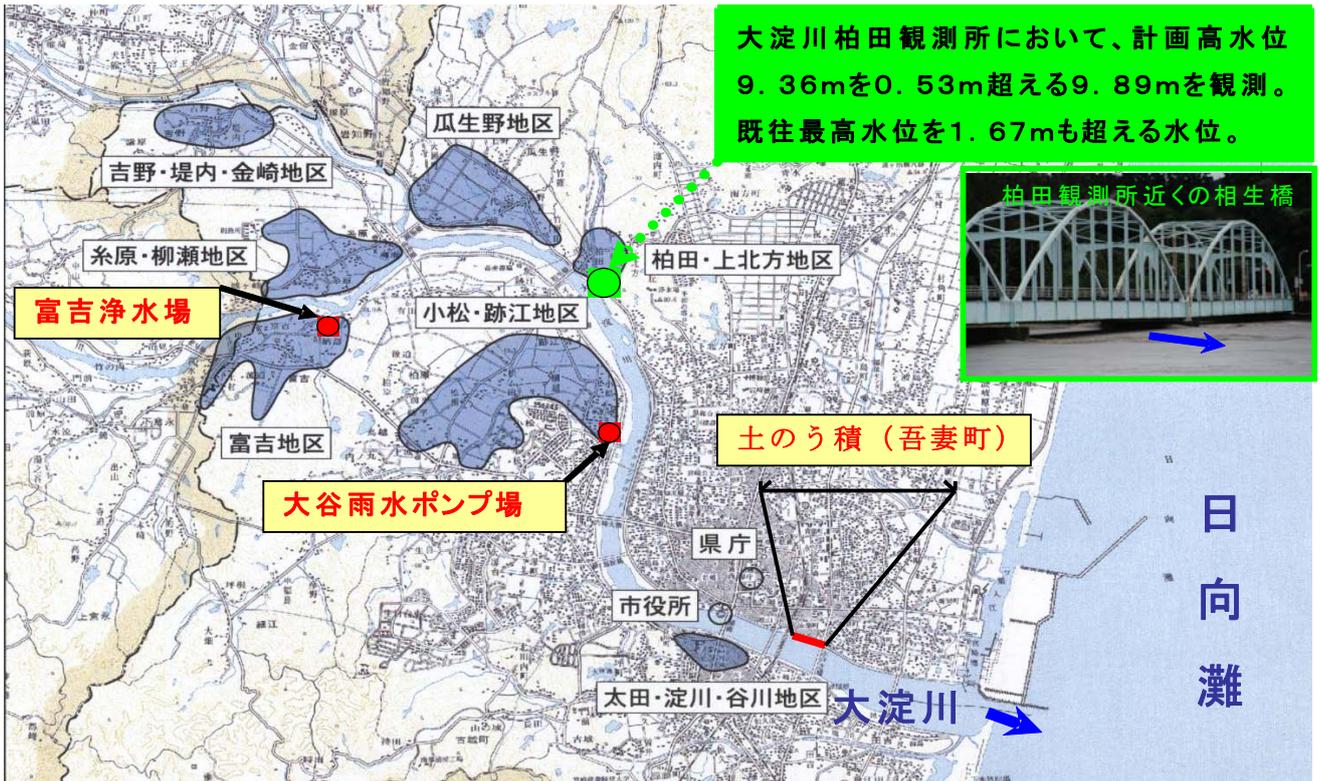


(単位：mm)

	平成17年台風14号 (9/4～9/6日 3日間)		平成2年台風20号 (9/27～29日 3日間)	
	総降水量	一日当たりの 降水量の最大値	総降水量	一日当たりの 降水量の最大値
宮崎	607.0	310.0 (9/5)	620.0	437.0
都城	777.0	429.0 (9/5) (記録更新)	305.0	303.0
小林	375.0	244.0 (9/6) (記録更新)	100.0	99.0
霧島御池	568.0	238.0 (9/6)	91.0	89.0
国富 (本庄)	699.0	405.0 (9/5) (記録更新)	418.0	295.0
計	3,026.0		1,534.0	

2. 被害概況

1) 浸水状況 (旧宮崎市域)



(富吉地区)



(下小松地区)

- 宮崎市のシンボル大淀川と橘橋 (平常時)



(台風14号時)

2. 被害概況

2) 自衛隊、消防団等による土嚢積みの実施（吾妻町）

台風14号による大雨の影響で、市内を流れる大淀川下流域左岸に位置する堤防（吾妻町）において、大淀川の流水が越水し、氾濫する恐れが高まったため、

市長は、平成17年9月6日県知事に対し自衛隊災害派遣要請を行い、土のう積み工を実施した。



（自衛隊及び消防団などによる作業）



（堤防まで残りあと50cmに）

3. 避難状況（旧宮崎市域）

1) かつてない規模の避難勧告・指示

市では、台風の接近に伴う県南部平野部に対する大雨洪水警報の発表を受け、9月4日午後4時38分、「情報連絡本部（40人体制）」を設置。その後は、状況の悪化に応じ、5日午後1時に「災害警戒本部（304人体制）」、同日午後4時半には「災害対策本部」に移行し、875人体制で災害対応を実施した。

そのような中、5日午後5時20分には、がけ崩れの恐れがある急傾斜地94箇所（市指定危険箇所Aランク）に対し、避難勧告を発令。その後も、河川の水位、道路冠水の状況などから次々と避難勧告を発令し、6日午前零時10分、大淀川の堤防工事が完了していない吾妻町付近で川の水が堤防を越える危険性が高くなったため、大淀川下流北側一帯の6,666世帯15,014人に対し避難勧告を発令した。同日午前2時15分には、同地域と城ヶ崎地区の避難勧告を避難指示に切り替えるとともに、大淀川下流域一帯にも避難指示を発令した。

避難勧告・指示の発令とともに、最大時で94箇所の避難所を開設し、約1万人が避難した。



← 満杯の避難所
（小松台小学校）

1) - 1 避難勧告・指示の状況（旧宮崎市域）

【避難勧告等の対象世帯、人員】

- ◎避難勧告（勧告のみ）
3, 404世帯 7, 555人
- ◎避難指示（勧告から指示へ切り替え含む）
9, 477世帯 21, 483人

(避難勧告・避難指示の状況)						
発表時刻	種別	対象地域	対象		解除	
			世帯	人員		
9月5日	17:20	勧告	急傾斜地Aランク94カ所	807	2,000	9/7 15:45
	18:00	勧告	城ヶ崎姥ヶ島地区(恒久6丁目、大字田吉)	163	400	9/6 02:15 避難指示へ
	18:45	勧告	大字跡江(松橋県住)、大字富吉(水流・六田川・上村)	79	160	9/8 11:15
	18:50	勧告	大字瓜生野(千代ヶ崎・前溝川沿い)	95	280	
	19:40	勧告	大字瓜生野(野首・上野)	150	450	
	21:50	勧告	大字瓜生野(柏田)	84	240	
	22:20	勧告	大字富吉(樽水)	30	60	
9月6日	00:10	勧告	大淀川北側一帯【吾妻町、永楽町、前原町、出来島町、潮見町、大王町、中西町、高洲町、田代町、小戸町、一の宮町、日ノ出町、稗原町、新栄町、昭栄町、吉村町(下別府・南今村・南浜田・大町前・今村前・今村・尻溝・下り松・中原・長田・南田・内柿元・下敷・北中・ハシテ)】	6,666	15,014	9/6 02:15 避難指示へ
	02:15	指示	大淀川北側一帯(上記地区)	9,477 (再掲含む)	21,483 (再掲含む)	9/6 20:45
			大谷川下流域一帯(下小松・跡江下・跡江上・大塚町上区自治会周辺)			9/8 11:15
			城ヶ崎姥ヶ島地区、城ヶ崎2・3・4丁目			9/7 05:40
	10:20	勧告	有田地区	218	555	9/8 11:15
12:00	勧告	淀川1・2丁目、谷川1・2丁目、中村1・2丁目、中村東1・2丁目、太田2・3丁目	1,941	3,810	9/7 00:10	
統計				12,879	29,038	

1) - 2 避難状況（旧宮崎市域）

【避難世帯及び避難者数】

- ・避難所開設期間 9/4～10/7
- ・避難所開設総数 97箇所
- ・総避難者数(延べ数) 11,915人

(※ピーク時：9/6 12時現在)

- ・自主避難者数 333世帯 2,234人
- ・避難所開設数 94箇所
- ・避難指示等による避難者数 7,825人(約26.9%)

避難者数合計 10,059人(※9/6 ピーク時)

1) - 3 措置状況及び経過状況（旧宮崎市域）

9月4日（日）	16:38	南部平野部 大雨、洪水警報発表 宮崎市情報連絡本部設置（予備配備体制40人）
5日（月）	5:28	南部平野部 暴風警報発表
	13:00	宮崎市災害警戒本部設置（警戒配備体制304人）
	14:00	宮崎県災害警戒本部設置
	16:30	宮崎市災害対策本部設置（警戒配備体制304人）
	17:20	避難勧告 急傾斜地Aランク94か所
	18:00	宮崎県災害対策本部設置 避難勧告 城ヶ崎姥ヶ島地区
	18:45	大淀川下流部洪水警報発表 避難勧告 大字跡江（松橋県住）、大字富吉（水流・六田川・上村地区）
	18:50	避難勧告 大字瓜生野（千代ヶ崎・前溝川沿い）
	19:40	避難勧告 大字瓜生野（野首・上野地区）
	21:50	避難勧告 大字瓜生野（柏田地区）
	22:20	避難勧告 大字富吉（樽水地区）
	23:50	大淀川上流部洪水警報発表
6日（火）	0:10	避難勧告 大淀川北側一帯（吾妻町ほか）
	0:44	南部平野部 高潮警報発表
	2:15	避難指示 大淀川北側一帯（吾妻町ほか） 〃 大谷川下流域一帯 〃 城ヶ崎姥ヶ島地区、城ヶ崎2～4丁目
	3:15	非常配備体制（875人）へ移行
	7:20	陸上自衛隊連絡員2名、市災害対策本部に配置
	7:47	航空自衛隊（新田原）110名、大淀川水防活動のため 出発（8:53 吾妻町現地到着）
	10:20	避難勧告 有田地区
	12:00	避難勧告 淀川1・2丁目、谷川1・2丁目、中村西 1・2丁目、中村東1・2丁目、太田2・ 3丁目
	15:35	南部平野部 高潮警報解除
	21:55	大淀川上流部洪水警報解除（注意報に切替え）
	23:45	南部平野部 暴風警報解除（注意報に切替え）
7日（水）		県が災害救助法の適用を決定
	1:55	大淀川下流部洪水警報解除（注意報に切替え）
	8:50	南部平野部 大雨、洪水警報解除（注意報に切替え）
	9:30	宮崎県災害対策本部廃止（警戒本部に切り替え）
8日（木）	8:12	自衛隊派遣を県に要請（応急給水業務）
	11:15	市内全域の避難指示・避難勧告を解除
9日（金）		県が被災者生活再建支援法の適用を決定
18日（日）		陸上自衛隊撤収（給水支援終了）
3月31日（金）	17:15	宮崎市災害対策本部廃止

4. 被害状況

1) 記録的な豪雨による甚大な浸水被害

記録的な大雨をもたらした台風14号により、本市は甚大な被害を被った。

旧宮崎市では大淀川の水位が上昇したため、流域内に降った雨が各支川（支流）から大淀川に極端に流れ込みにくくなり、支川の水位も急上昇。北地区と生目地区管内の6地区（瓜生野、柏田・上北方、糸原・柳瀬、吉野・堤内・金崎、小松・跡江、富吉）で地区内を流れる川の水が堤防を越え、大きな浸水被害をもたらした。

また橘橋南詰一帯の地区（太田・淀川・谷川など）でも、浸水被害が発生。大淀川の水位が上昇した結果、地区内に降り続いた雨水が大淀川に流れにくくなり、被害が発生したと推定されている。

このほか、5日午前10時半ごろには、東大宮地区などで台風の影響によると思われる竜巻が発生し、住宅の屋根瓦が飛んだり倉庫が倒壊したりするなどの被害が発生した。

1) - 1 被害状況（旧3町域含む）

【人的被害】

軽傷者10名（旧宮崎市7名、旧佐土原3名）

【住家被害】宮崎市全域

被害の種別及び世帯数	床上浸水				床下浸水	一部損壊	計
	3,053世帯						
	全壊相当	大規模半壊相当	半壊相当	床上相当			
	916	940	918	279	686	198	3,937

[内訳]

・旧宮崎市域

18.5.18現在

被害の種別及び世帯数	床上浸水				床下浸水	一部損壊	計
	2,058世帯						
	全壊相当	大規模半壊相当	半壊相当	床上相当			
	604	661	635	158	403	112	2,573

※竜巻による住家被害9世帯（全壊5世帯、大規模半壊1世帯、半壊3世帯）

・旧佐土原町域

18.4.1現在

被害の種別及び世帯数	床上浸水				床下浸水	一部損壊	計
	28世帯						
	全壊相当	大規模半壊相当	半壊相当	床上相当			
	0	4	11	13	41	77	146

・旧田野町域

18.4.1 現在

被害の種別及び世帯数	床上浸水				床下浸水	一部損壊	計
	なし						
	全壊相当	大規模半壊相当	半壊相当	床上相当	1	9	10
	なし						

・旧高岡町域

18.4.1 現在

被害の種別及び世帯数	床上浸水				床下浸水	一部損壊	計
	967世帯						
	全壊相当	大規模半壊相当	半壊相当	床上相当	241	0	1,208
	312	275	272	108			

※ 相当被害は被災者再建支援法に基づく調査結果。



(台風通過後対応を行う職員
：災害対策本部室)



(使えなくなった家財道具などが道路脇に並ぶ：小松地区)

1) - 2 被害状況一覧 (旧3町域含む)

			宮崎市(3町含)	旧宮崎市	佐土原町	田野町	高岡町
人的被害	死者	人					
	行方不明者	人					
	負傷者	重傷	人				
		軽傷	人	10	7	3	
住家被害	全壊	棟	908	604			304
		世帯	916	604			312
		人	2,203	1,443			760
	半壊	棟	1,836	1,296			540
		世帯	1,858	1,296	15		547
		人	4,417	3,097			1,320
	一部破損	棟	198	112	77	9	
		世帯	198	112	77	9	
		人	295	267		28	
	床上浸水	棟	275	158	13		104
		世帯	279	158	13		108
		人	628	377			251
	床下浸水	棟	686	403	41	1	241
		世帯	686	403	41	1	241
		人	1,631	963	4	2	662
	非住家	公共建物	棟	41	27	13	1
その他		棟	324	290		1	33
その他	田	流失・埋没	ha	28.20	28.00		0.20
		冠水	ha	12	0		12
	畑	流失・埋没	ha	1	0		1
		冠水	ha	73	0		73
	学校	箇所	16	10	3	2	1
	病院	箇所	1	0		1	
	道路	箇所	64	3	6	19	36
	橋りょう	箇所					
	河川	箇所	11	6			5
	港湾	箇所					
	砂防	箇所					
	清掃施設	箇所	1	1			
	崖崩れ	箇所	2	2			
	鉄道不通	箇所					
被害船舶	隻	4,618	0			4,618	
水道	戸	10,001	10,001				
土石流	箇所				1(鰐塚山)		
電話	回線	31	31				
電気	戸	1	1				
ガス	戸						
その他	ブロック塀等	箇所					
	農道	箇所	41	0		14	27
	山林崩壊	箇所	2	0			2
	水路	箇所	23	0			23
	水道施設	箇所	6	0		2	4
火災死生	建物	件					
	危険物	件					
	その他	件					
り災世帯数	世帯	1,296	0	88		1,208	
り災者数	人	2,993	0			2,993	
公立文教施設	千円	332,297	163,024	26,000	100,000	43,273	
農林水産業施設	千円	962,459	431,659		89,000	441,800	
公共土木施設	千円	8,755,297	353,223	62,074	7,784,000	556,000	
その他の公共施設	千円	1,678,429	32,608	4,200	1,374,000	267,621	
小計	千円	11,728,482	980,514	92,274	9,347,000	1,308,694	
その他	公共施設被害市町村	団体					
	農産被害	千円	770,370	660,617	49,800	28,000	31,953
	林産被害	千円	4,513,100	0	100	4,513,000	
	畜産被害	千円	45,800	10,000			35,800
	水産被害	千円	9,500	0	9,500		
	商工被害	千円	4,387,550	2,788,400	69,000	15,000	1,515,150
	その他	千円	41,564	41,564			
被害総額	千円	21,496,366	4,481,095	220,674	13,903,000	2,891,597	

※消防職員出動延べ人数(3町含む): 580人

※消防団員出動延べ人数(3町含む): 3,016人

1) - 3 富吉浄水場冠水に伴う市内断水被害の発生

台風14号による大雨の影響で、本市内を流れる大淀川の支流が氾濫。上水道施設（富吉浄水場）の一部が冠水し、約5万世帯への送水が不能に陥った。

九州地区の各自治体、県内水道事業者による給水活動に加え、自衛隊災害派遣の要請を行い、給水活動を実施した。

- ・夜間断水：午前1：00～午前5：00（一部高台の地域は完全断水）
- ・断水期間：平成17年9月10日～10月24日（45日間）



（富吉浄水場冠水状況）



（給水活動状況）

5. 活躍したボランティア、消防団

災害復旧にあたっては、9月7日、宮崎市災害ボランティア本部を設置し、浸水被害の大きかった北・小松・富吉の3地区に現地ボランティアセンターを開設。SVC みやざき(災害時救援ボランティアコーディネーター)を中心に住民の要望を把握し、旧宮崎市では7千人、旧高岡町では2千人を超えるボランティアの方々に、浸水した家屋内の家財道具の運び出しや運搬などに協力いただいた。

また、断水状態が長期間続いた生目台地区などでも、高齢者宅に水を運ぶなど、大勢のボランティアが活躍。このほか、住民の避難や救助にあたっては消防団員が活躍するなど、地域の自主的な活動の重要性が改めて認識された。

【ボランティア活動状況】

・旧宮崎市域

期 間	9月7日～9月19日
総 数(延べ人数)	7,357人(延べ)
ピーク時(1日あたりの人数)	1,492人(9月10日)
個人登録数	2,077人
団体登録数	298団体

・旧高岡町域

期 間	9月7日～9月19日
総 数	2,308人
ピーク時(1日あたりの人数)	502人(9月14日)